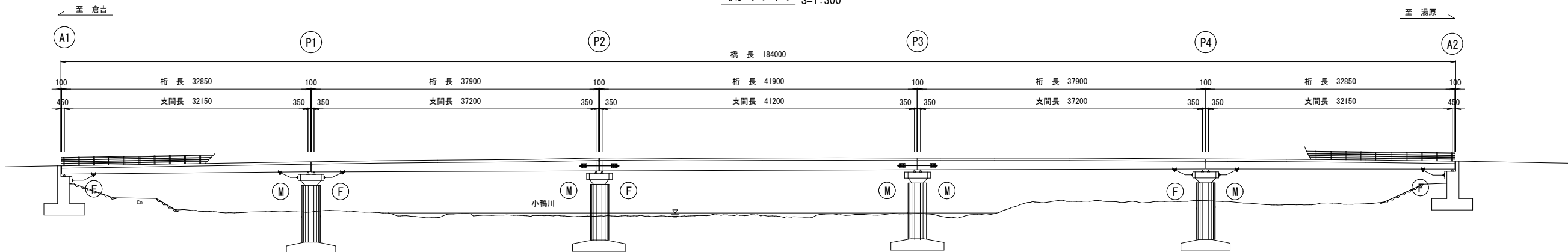
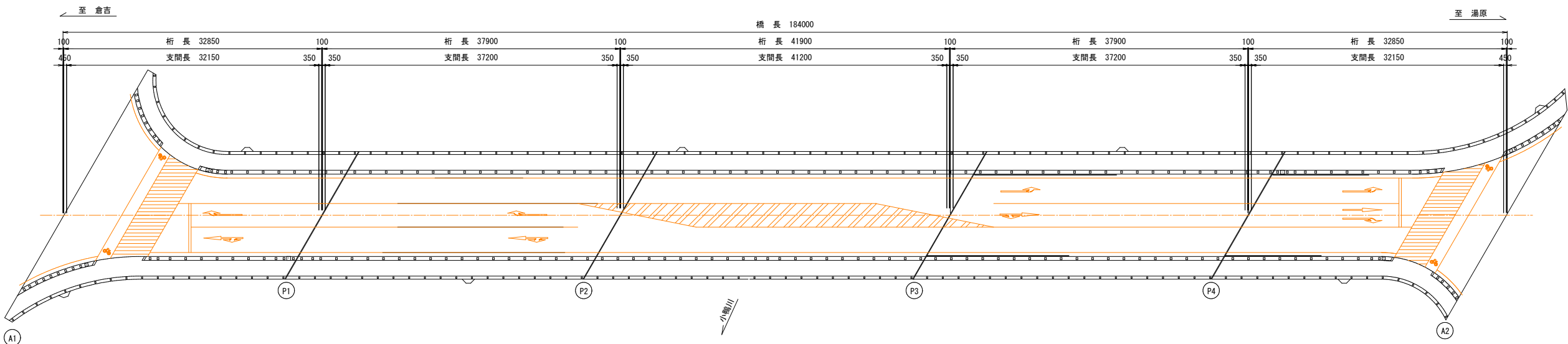


橋梁一般図

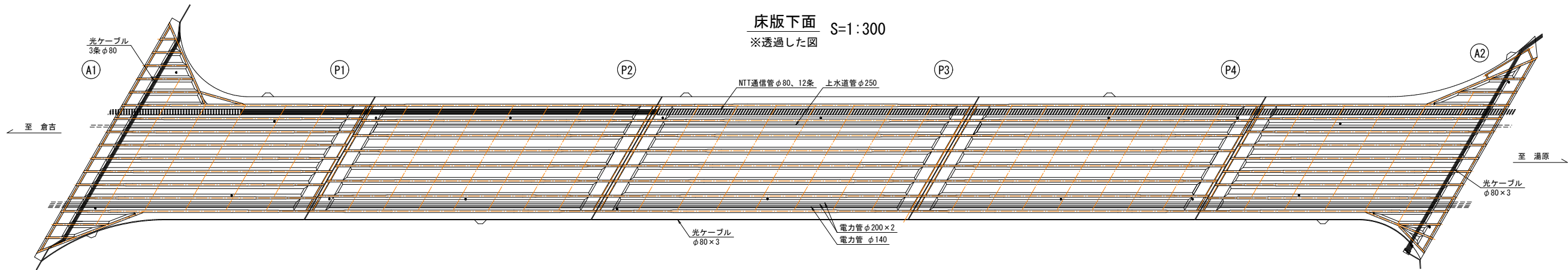
側面図 S=1:300



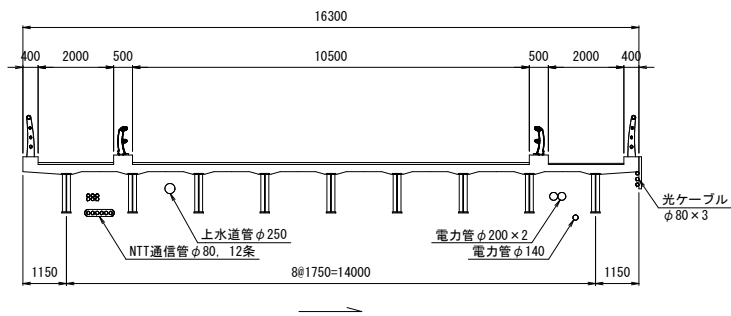
平面図 S=1:300



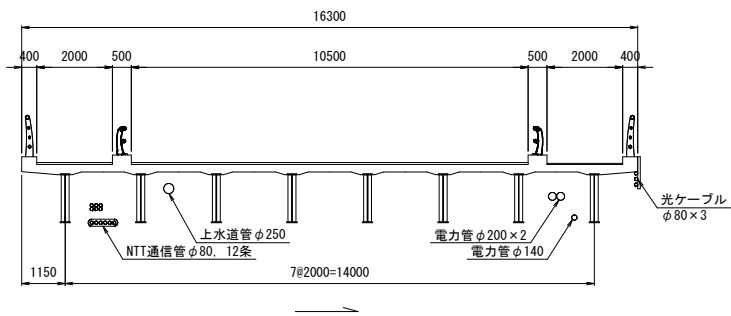
床版下面 ※透過した図 S=1:300



側径間断面図 S=1:100



中央径間断面図 S=1:100



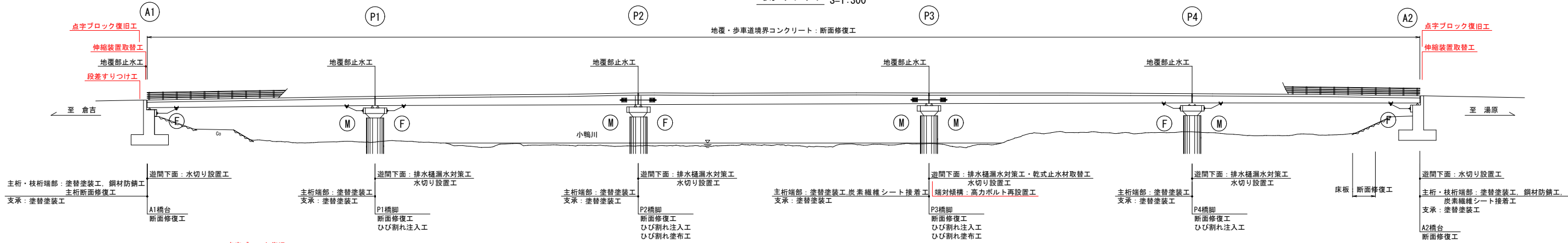
8 起工設計

路 線 名	国道313号		
国道313号(小鴨橋)橋梁補修工事(補助)			
図 名	橋梁一般図		
位 置	倉吉市西倉吉町～河原町		
縮 尺	図 示	単 位	MM
図 号	全 6 葉 中 の 内 1		
令和 8 年度施行		鳥 取 県	
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

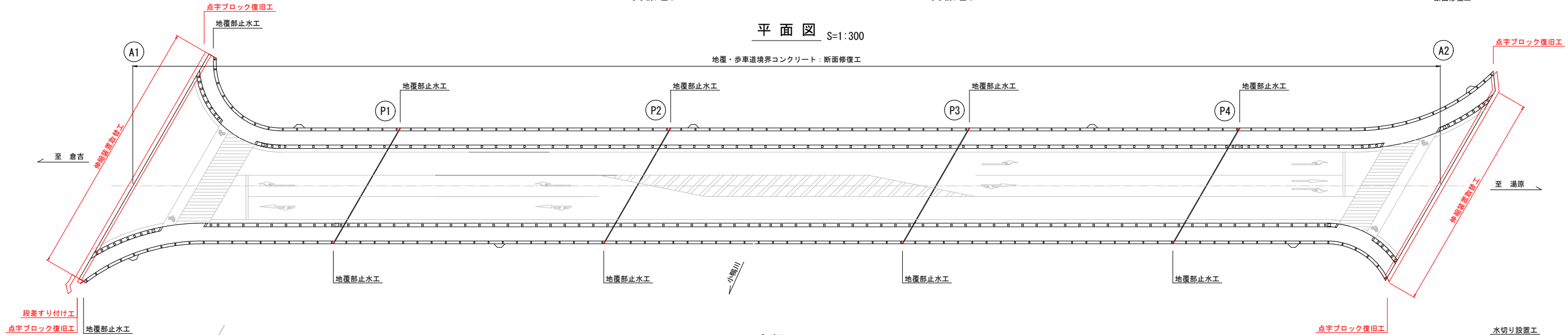
注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

補修一般図

側面図 S=1:300

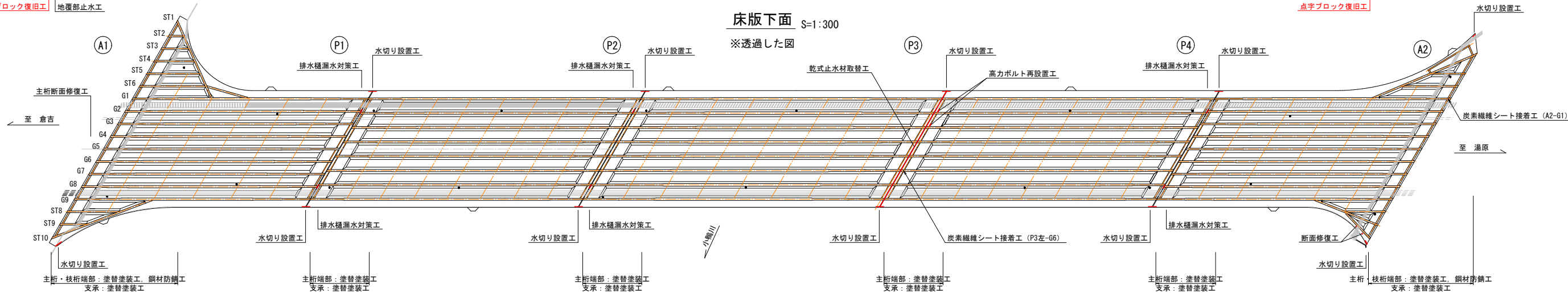


平面図 S=1:300

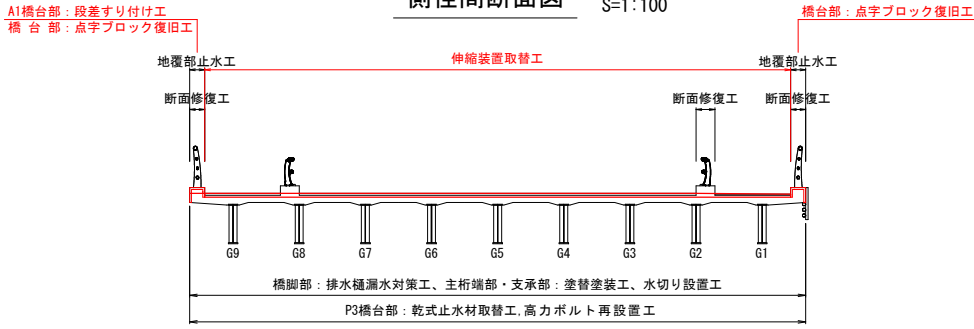


床版下面 S=1:300

※透過した図



側径間断面図 S=1:100



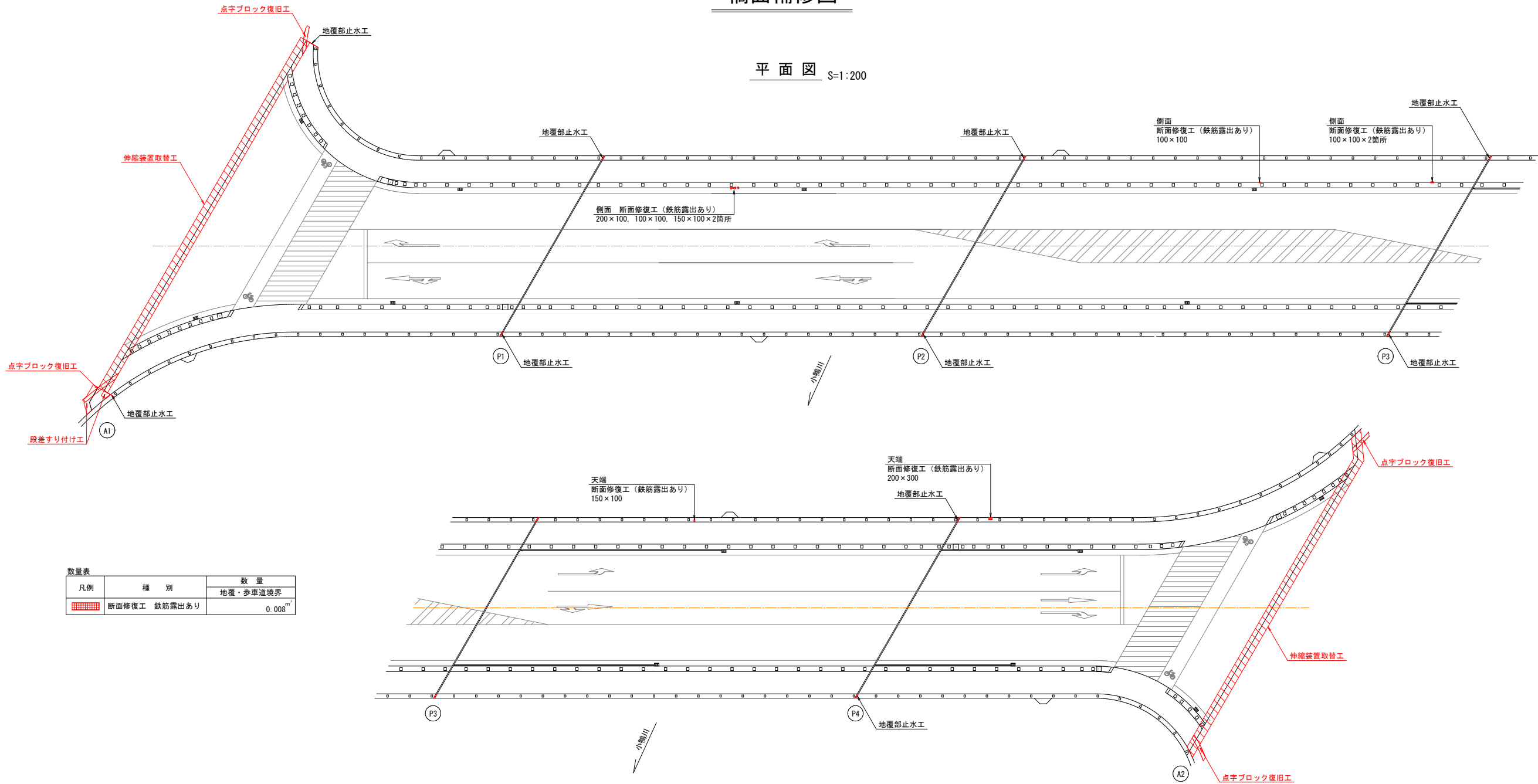
⑧ 起工設計

路 線 名	国道313号		
国道313号(小鴨橋)橋梁補修工事(補助)			
図 名	補修一般図		
位 置	倉吉市西倉吉町～河原町		
縮 尺	図 示	単 位	MM
図 号	全 6 葉中の内 2		
令和 8 年度施行	鳥 取 県		
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

橋面補修図

平面図 S=1:200



数量表		
凡例	種 別	数 量
	断面修復工 鉄筋露出あり	地覆・歩車道境界
		0.008 ^m

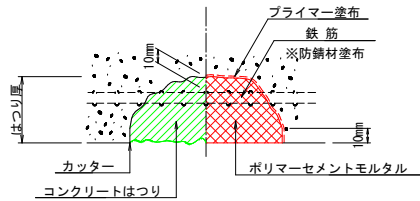
断面修復工 NonScale

(左官工法)

コンクリート欠損・浮き・鉄筋露出部に適用

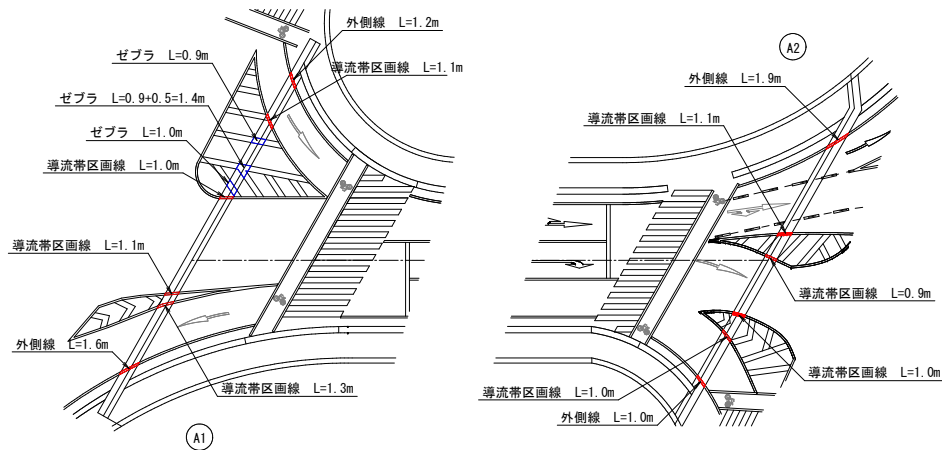
①脆弱部撤去

②復旧



- ※ はつり範囲はカッター等で縁切を行うこと (フェザーエッジに注意)。
- ※ コンクリート脆弱部分を完全にはつり落とすこと。
- ※ 鉄筋がある場合は、完全に露出させること。
- ※ 鉄筋の錆はケレン等により除去すること。
- ※ 防錆材は鉄筋全周に塗布すること。
- ※ 一体性確保のため、鉄筋の裏側まではつり取ること。

区画線工 S=1:300



⑧ 起工設計

路 線 名	国道313号		
国道313号(小鴨橋)橋梁補修工事(補助)			
図 名	橋面補修図		
位 置	倉吉市西倉吉町～河原町		
縮 尺	図示	単 位	MM
図 号	全 6 葉中の内 3		
令和 8 年度施行		鳥 取 県	
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

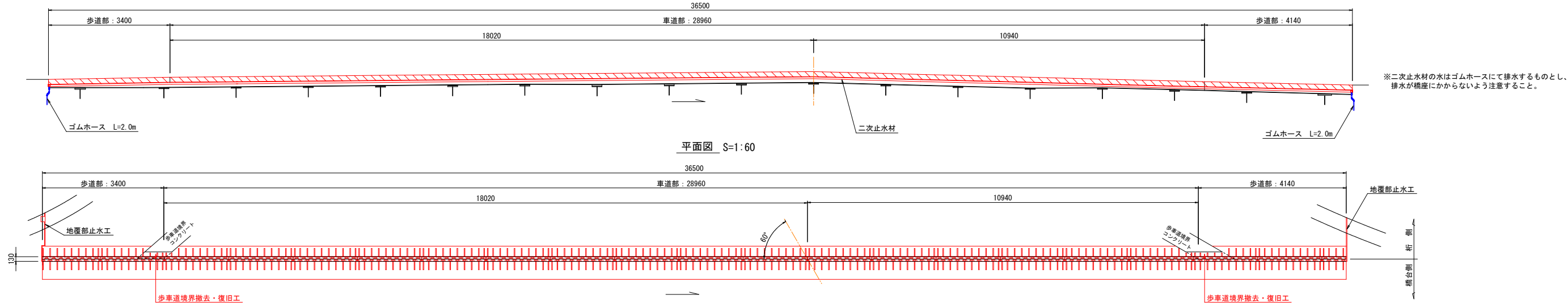
伸縮装置取替工補修図

(参考図)

A 1 橋台

横断面図 S=1:60

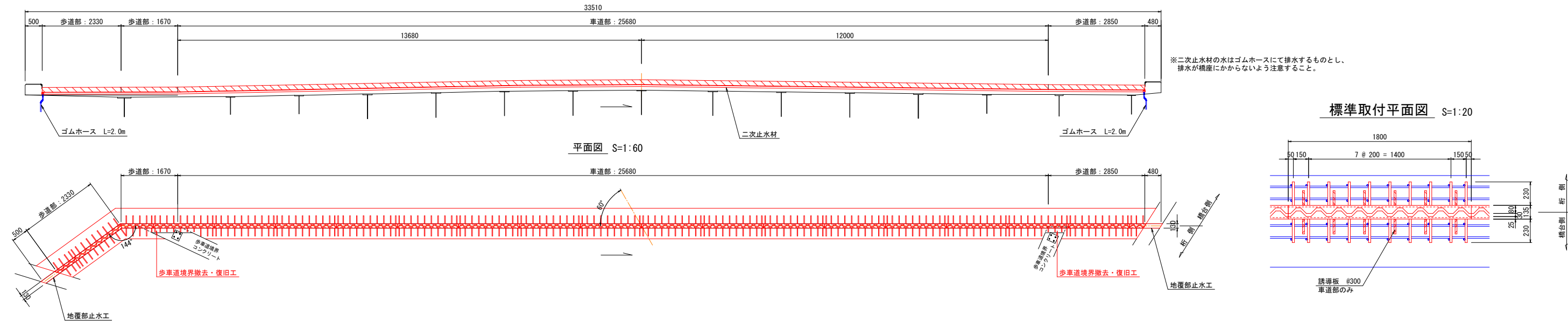
平面図 S=1:60



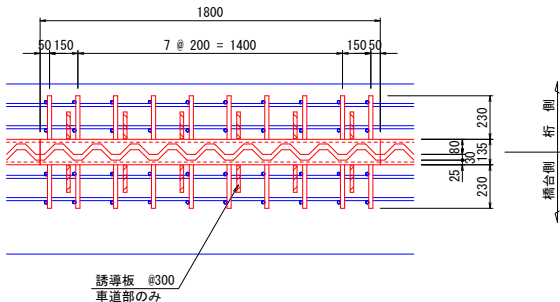
A 2 橋台

横断面図 S=1:60

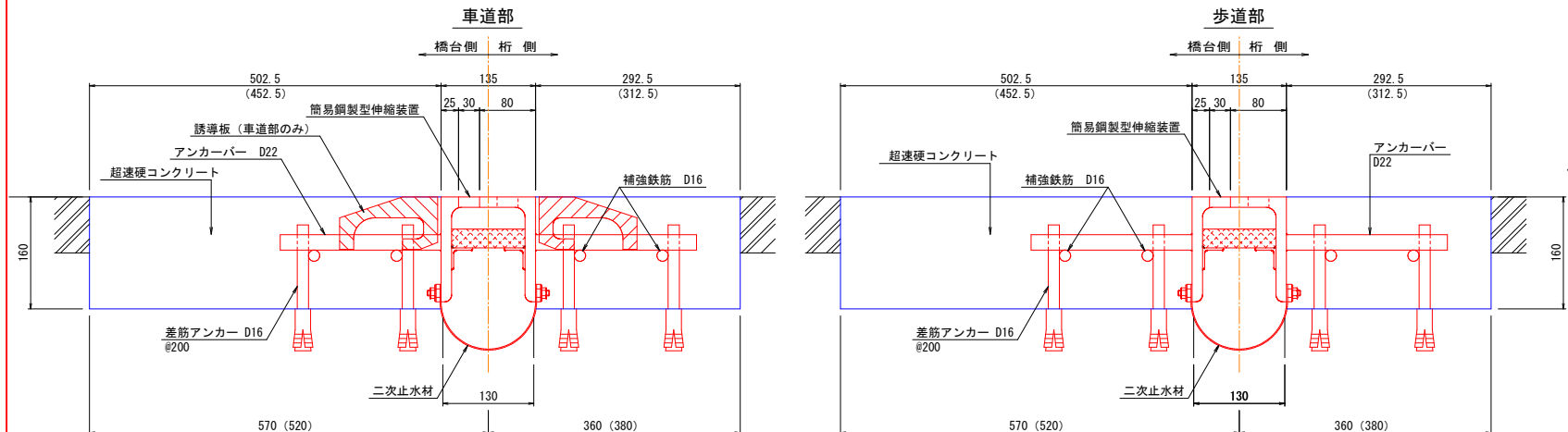
平面図 S=1:60



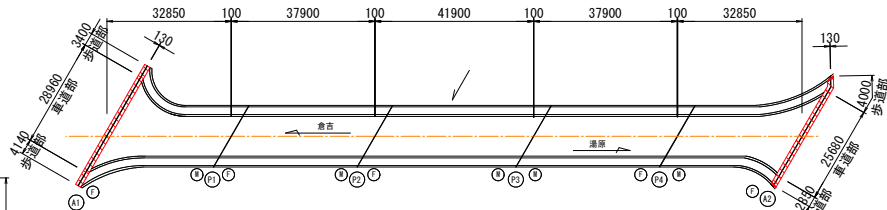
標準取付平面図 S=1:20



標準取付断面図 S=1:5



配置図 S=1:500



材料表

名 称	規 格	単位	A1部	A2部	備 考
車道部伸縮装置	簡易鋼製型、設計伸縮量20mm	m	28.96	25.68	両側誘導板付、荷重支持型、2次止水構造
歩道部伸縮装置	簡易鋼製型、設計伸縮量20mm	m	7.54	6.85	荷重支持型、2次止水構造
超速硬コンクリート		m ³	4.6	4.0	
補強鉄筋	D16	kg	227.8	203.0	※既設伸縮装置のものを撤去後流用を想定
コンクリートアンカー	D16	本	730	651	※既設伸縮装置のものを撤去後流用を想定
ゴムホース	25A	m	4.0	4.0	

※施工にあたっては、現場再測の上行うこと。

⑧ 起工設計

路 線 名	国道 3 1 3 号			
国道 3 1 3 号(小鴨橋)橋梁補修工事(補助)				
図 名	伸縮装置取替工補修図			
位 置	倉吉市西倉吉町～河原町			
縮 尺	図示	単 位	MM	
図 号	全 6 葉中の内 4			
令和 8 年度施行			鳥 取 県	
鳥取県中部総合事務所県土整備局				

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

構 造 図 (1/2)

炭素繊維シート接着工 S=1 : 10

P 3 橋脚左側 G 6 桁

A 2 橋台 G 1 桁

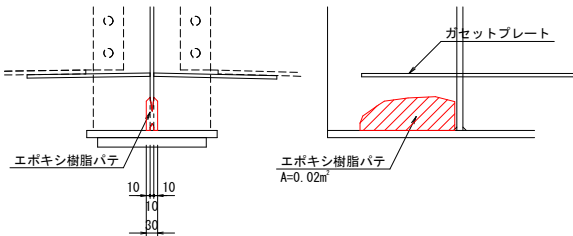
主桁断面修復工 S=1 : 10

※腐食孔部分の塗装・錆を除去した後、パテにより断面修復する。

A 1 橋台 G 5 桁

断面図

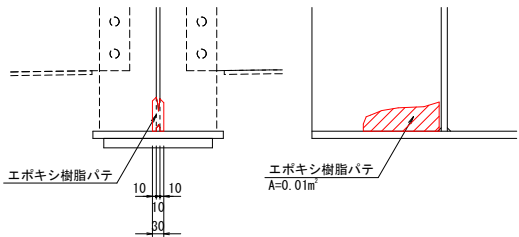
側面図



A 1 橋台 G 6 桁

断面図

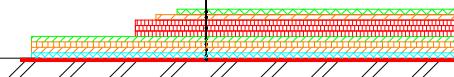
側面図



※補修面積、パテの量は現地に合わせて調整すること。
※断面成形後、塗装を施すこと。

ストランド型炭素繊維シート構造図 noscale

仕上り塗装
※塗替塗装工と同じ塗装仕様
保護層 (アラミド繊維シート)
ストランド型炭素繊維シート (1層, 1方向)
高伸度弾性パテ材 (ポリウレタ樹脂パテ材, 厚さ0.8mm) 1.0kg/m²
高伸度弾性パテ材用プライマー (ウレタンプライマー) 0.15kg/m²
不陸修正材 (エポキシ樹脂パテ) 1.2g/cm³ ※凹凸がある場合に施工
エポキシプライマー 0.15kg/m²
素地調整 (2種ケレン)



ストランド型炭素繊維シートの規格値

項 目	規格値	摘 要
繊維種類	ストランド型	
繊維方向	1方向	
ヤング係数	6.4×10 ⁹ N/mm ² 以上	JIS A 1191
引張強度	1900N/mm ² 以上	JIS A 1191
繊維目付量	900g/m ² 以上	JIS A 7071
設計厚さ	0.429mm	

アラミド繊維シートの規格値

項 目	規格値	摘 要
繊維種類	高弾性型	
繊維方向	2方向	
ヤング係数	1.2×10 ⁹ N/mm ² 以上	
引張強度	2060N/mm ² 以上	
繊維目付量	180g/m ² 以上	

数量表

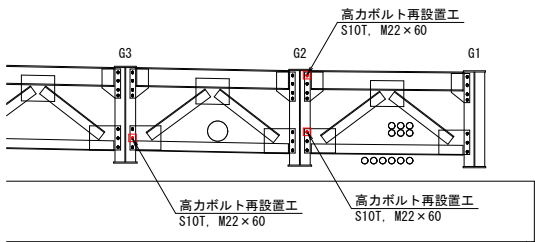
項 目	数 量 (m ²)		
	P3左-G6	A2-G1	合 計
炭素繊維シート接着工	0.054	0.050	0.104

※炭素繊維シートの純面積を示す。

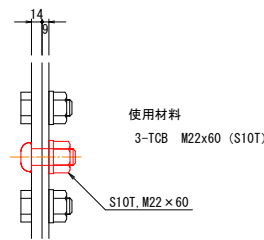
高力ボルト再設置工

(P 3 橋脚左岸側)

位置図 S=1 : 30



詳細図 S=1 : 5

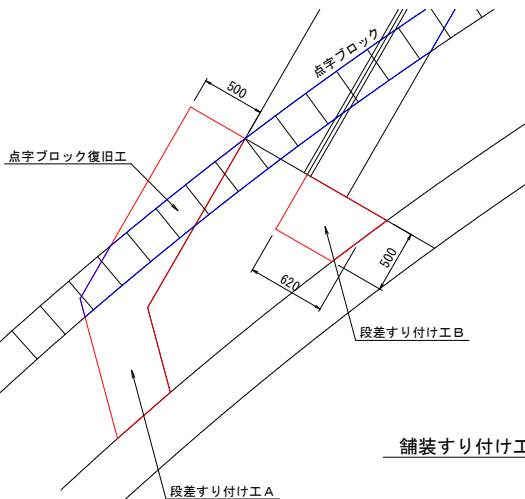


※高力ボルト設置範囲の塗装を除去すること。
ボルト設置後、補修塗装を施すこと。

段差すり付け工

(A 1 橋台下流側)

側面図 S=1 : 30



舗装すり付け工 A断面図 S=1 : 20



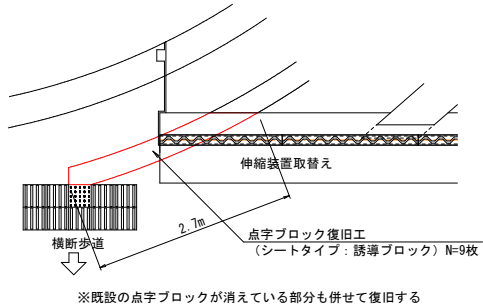
※ () 内は舗装すり付け工Bの値

点字ブロック復旧工

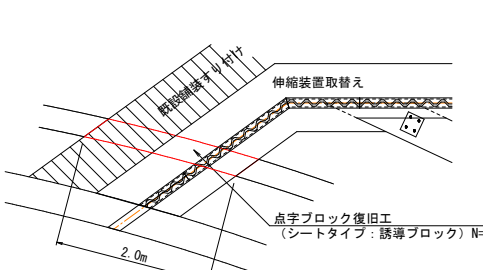
S=1 : 50

※伸縮装置取替えに伴う点字ブロックの復旧

A 1 橋台上流側

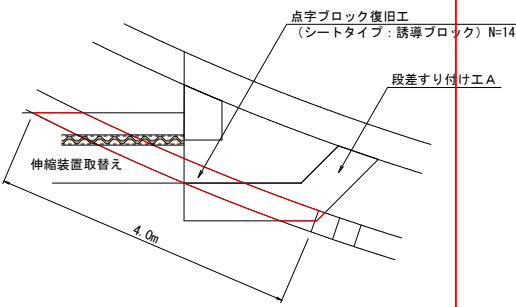


A 2 橋台上流側

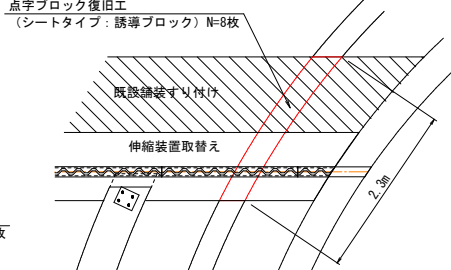


※既設のすり付け舗装により点字ブロックが隠れている部分も併せて復旧する

A 1 橋台上流側



A 2 橋台下流側



※既設のすり付け舗装により点字ブロックが隠れている部分も併せて復旧する

⑧ 起工設計

路 線 名	国道 3 1 3 号		
国道 3 1 3 号 (小鴨橋) 橋梁補修工事 (補助)			
図 名	構 造 図 (1/2)		
位 置	倉吉市西倉吉町～河原町		
縮 尺	図示	単 位	MM
図 号	全 6 葉 中 の 内 5		
令和 8 年度施行		鳥 取 県	
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

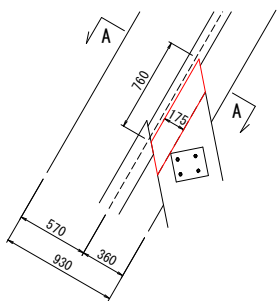
構 造 図 (2/2)

歩車道境界撤去・復旧工

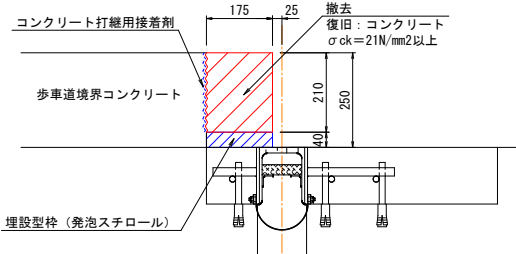
※伸縮装置取替え作業に支障となる部分を撤去・復旧する。
※撤去時に鉄筋を備付けないよう、注意すること。
※はつり面に鉄筋があることを想定しているが、無い場合は
差し筋アンカーを設置してからコンクリートを打設すること。

A 1 上流側

平面図 S=1:30

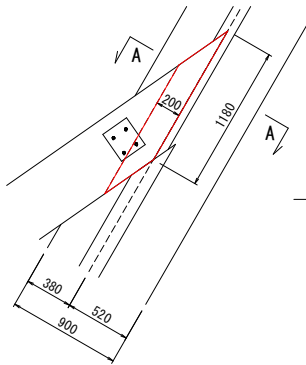


A-A S=1:10

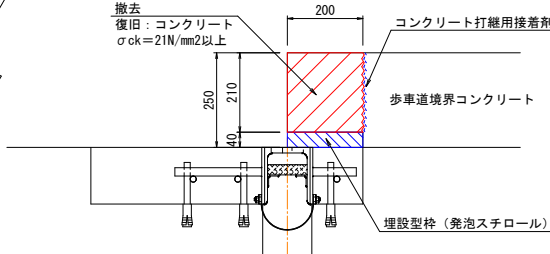


A 2 上流側

平面図 S=1:30

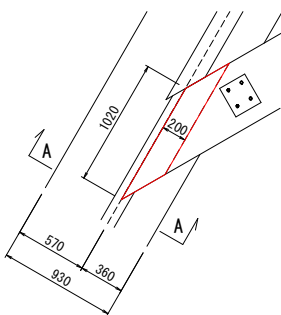


A-A S=1:10

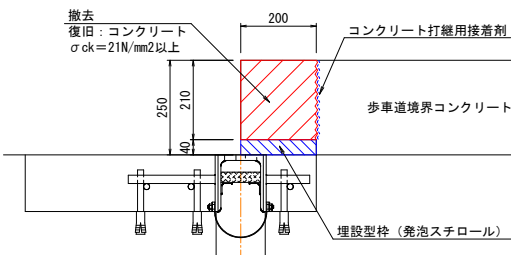


A 1 下流側

平面図 S=1:30

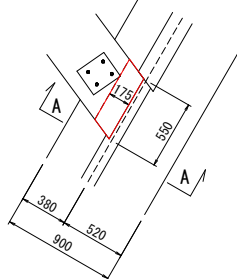


A-A S=1:10

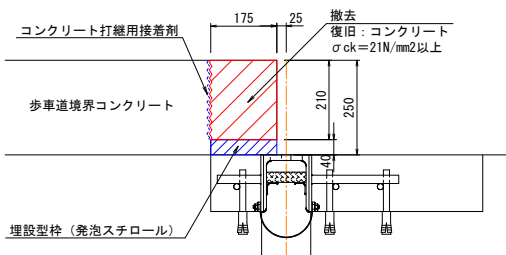


A 2 下流側

平面図 S=1:30



A-A S=1:10



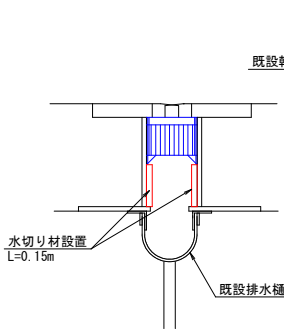
材料表

名 称	規 格	単 位	数 量			
			A1橋台上流側	A1橋台下流側	A2橋台上流側	A2橋台下流側
コンクリート	$\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$ 以上	m ³	0.028	0.043	0.050	0.020
埋設型枠	発泡スチロール t=4cm	m ²	0.13	0.20	0.24	0.10
型枠	小型	m ²	0.27	0.38	0.45	0.20
コンクリート打継用接着剤	エポキシ系	kg	0.19	0.26	0.30	0.14

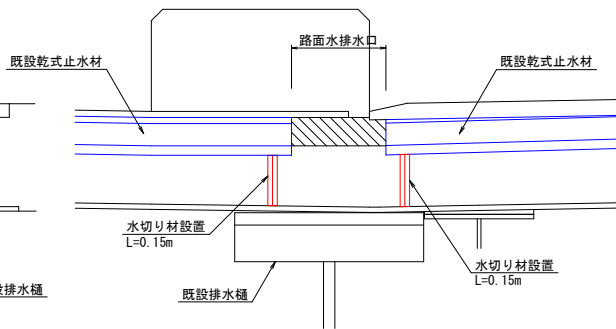
排水樋漏水対策工

S=1:10

側面図



側面図

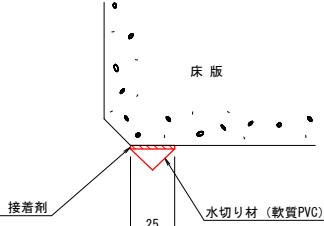


※水切り材は乾式止水材切断面と排水樋の間に設置すること。
※水切り材の長さ、設置位置は現地に合わせて調整すること。

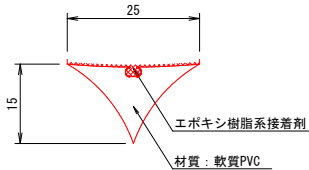
水切り設置工

nonScale

設置図



水切り材形状図(参考)

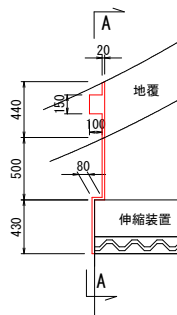


※ビニル系やゴム系など軽量で腐食性のない(金属でない)材質とする。
※接着剤、施工方法等は使用する材料の仕様に乗すること。

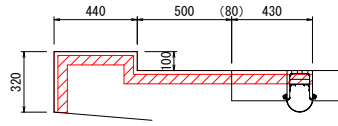
地覆部止水工

A 1 橋台上流側

平面図 S=1:30

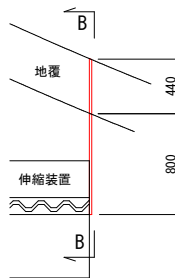


A-A S=1:20

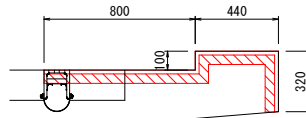


A 1 橋台下流側

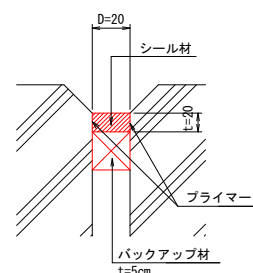
平面図 S=1:30



B-B S=1:20



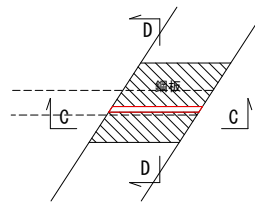
シール材断面図 Nonscale
(A1橋台部)



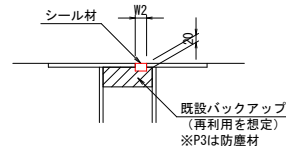
※シール材の厚さ、幅、範囲は
現場に合わせて調整すること。

橋脚部、A2橋台部

平面図 S=1:20

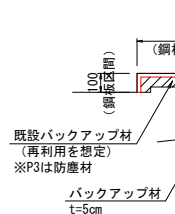


D-D S=1:10

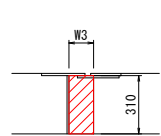


※接着面にプライマーを塗布すること。
※シール材は鋼材との接着性に優れるものとする。
※シール材の厚さは適宜変更すること。
※既設バックアップ材再利用を想定しているが、必要に応じて取り替えること。

C-C S=1:20



E-E S=1:20



位置	P1上下	P2上下	P3上下	P4上下	A2上流	A2下流
W1	460	460	460	460	500	480
W2	30	30	60	30	30	30
W3	130	130	220	130	130	130

数 量 表

名 称	規 格	単 位	数 量					
			A1橋台	A2橋台	P1橋脚	P2橋脚	P3橋脚	P4橋脚
シール材	弾性シール材	L	2.06	1.30	1.25	1.25	2.51	1.25
バックアップ材	ウレタンフォーム	L	4.28	4.03	4.03	4.03	6.82	4.03

⑧ 起 工 設 計

路 線 名	国 道 3 1 3 号		
国 道 3 1 3 号 (小鴨橋) 橋梁補修工事 (補助)			
図 名	構 造 図 (2/2)		
位 置	倉吉市西倉吉町～河原町		
縮 尺	図 示	単 位	MM
図 号	全 6 葉中の内 6		
令和 8 年度施行	鳥 取 県		
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。